雜集 文久辛酉 鈴木大 五 共五冊

抄録了

和書門 類
三六〇五一 號
二二四 函
四 架
三八 冊

内閣文庫
和書 類
三六〇五一 號
三八 冊
一五函
二三架

閣 24

内閣文庫
番號 和 36051
冊數 38 (9)
函號 150 155

史

綴じ部（喉部分）の文字など開きが不鮮明な箇所あり

国立公文書館
National Archives of Japan

西洋ニ而昔於コロンボ西人セイボニ　米人ジヨルヂボールニ
亜墨利加ヲ発見ス
一於テ諸国之者共ニ而永年住居仕候ニ而英国より支配を受候
一独立致し候
一亜墨利加ニ住居仕候英国より支配を受候
一三拾年已前より英国ニ候
一右後御当地開拓し始候ニ付候而も退去
当分ニ而之事ニ付
一右後ハ和睦一同安堵致し候
一右之ハ近ニ而地ニ農民共相増し当今長く和合之事
しかれとも
一米国より和親相願ひ候事

日本政府図書
内閣文庫

内29

一 亜墨利加ハ西洋千八百二十七年 英和諸州 安政 英吉
利領ニ属シ居候処 手切ニ相成候ニ付 此所ニ定
メ候由ニ御座候
一 当国細心得候事
一 此方ニテハ三百年前より此辺之者 民政府 神祠ヲ相建て御座候
右ハ是迄者有之候由ニ御座候
一 彼地ハ唯其外之者のみ右心得 政事相行 其所ニ有之 此度中
右政事者其儀 何れ之政事ニテ 是ハ全り之者人殺ニ致シ候
一 此方ニテハ三百年前建物有之 此上ハ小笠原島 右者凡百年程以前
彼方ニテ百年以前 政中絶ニ成候ニ付 右方共政事ニ御上 定ニ有之
為之候ニ付 右方共ニ政候事 其節ニ付 手候得其 可相成候
一 彼地一円心得 右ニ付 候得共 其外 法度之法

是迄之者ハ記録ニ而 相見候
一 右方ニ而開墾之土地ニ而 候得共 以来当所開墾 彼地ニ而
之ニ付 此方ニ而 上差図ニ 候得 共ニ 相応ニ 可有之
一 彼方候ニ以来 有之候 然ニ 候ニ付 候
一 右ハ此方農民之者 引移し 此方ニ定候
一 西洋之者 規則之者 其外 入組ニ而 可有之候
一 夫ハ是迄 諸事相 此方ニ而 候ニ付 此方ニテ 差図ニ
ニ而 候得共 以来 此方ニテ 右方之者 一図ニ差出 候
一 諸事之
一 此事ニハ諸材 掛合 差図之通 手前ニ而 可致
此時 油 其外 以来 掛合之者 手前 相応ニ 致候
一 諸事之儀 候

一兵粮ハ当時之儀ニ付二万セイボシニ差上ケ名出ス何之蓄
独リ積ヲ致ス
一難ハ無之事
一以来平安長久ニ成候而 天下五ヶ年美食医師ナト
連ノ名病人無之候ニ而一切不申候
一只今差当病人ハ無之候ハヽ 無之候ニ而ハ平穏可申候
一当年ハ当地ハ宜敷方ニ無之候
一当地ハ地震ハ如何可有哉
一大地震ハ無之候哉 大地震ハ一ヶ年有之候得ハ無之候
一津波ハ如何可有哉
一当年ゟ七ヶ年以前大津波有之候而 和泉ニ而五軒程押流
一剰ヘ其外什器皆失亡いたし候

一舟ハホルメニ渡来致しへく可有哉
一吉ハ積シ有之
一千万人々ニハ怪我無之候
一人数ハ宜敷無之候
一夫ハ何月比可有哉
一十二月廿九日しかるへく候
一此節東南之方ニ船吾西へ吹入候而 当所ニ致し候哉
一野ノ浅近ニ
一兵ハ人家何軒程可有哉
一四軒無之候
一居民ゟ何百人程か可有哉 人積ニ可有哉
一吉人ゟ兵ヲ差遣シ人ハ土民迄亜墨利加ヲ以テ障往行キ候ニ致ス方

十カ人程ニ御座候

一此所より船ニ而此辺迄参候

一纔少船ニ而渡り申候

一其ハ御座候ニ御座候

一右ハ御上方(?)海道(?)四ツ時ニ出(?)船[illegible]ニ乗(?)候ハ今(?)(?)
程有(?)候ハ海(?)(?)申候

一尤鍋(?)ハ此所ニ而[illegible]候

一此所ニ一揆(?)も多ク御座候

一此島ニ附属之二十七島ニ人居住申候

一無之候

一此外二ツ之島ニハ唐人参り住申候

一右島ハ何ニ茂無之候

一右(?)見(?)も無之(?)此島(?)渡(?)海(?)致(?)[illegible]ニ被仰付(?)候[illegible]
此御用ニ付ハ此島ニ而渡し相成申候

一此所ハ此(?)何ニ御座候

一此ハ此島(?)周囲(?)ニ而(?)山ニハ大木無之候

一此(?)[illegible]野菜(?)程(?)(?)(?)御(?)座(?)候(?)[illegible]附(?)(?)ニ(?)(?)

一右島之儀ハ(?)程(?)[illegible]ニ(?)(?)[illegible]
其外(?)[illegible]ニ[illegible]菜(?)[illegible]

恐惶(?)謹言(?)

御(?)年(?)[illegible]返数(?)

酉三月廿二日 於御浜村 米人ウエブに對話

一云拾艘程有る

一年前亜国ニ而何ケ年ニ成候哉

一英国ニ而千八百四拾七年亜国船ジヤツパンニ渡来船ニ
当時ニ蒸気商年之後懸結来る由

一当時人家何軒有之人数何程ニ候哉

一家数三千軒之内ニ新猶程中ニ亡し家内外米人老人
トーマスシメスト申者同所出生ハ西七月西暦年号ハ四人
英国米国軍艦ニ乗来り与し御断蒸し蒸気船マルと
戸船ニ而組所服文商年ニ出帆候

一来る名船之乗申ニ而此程ニ候哉

一船号者船名チヨウシレツヒルロウイセトと申右ニ中之候哉

止宿仕候トーマスも同様船え乗組致し上右出帆仕候由

一此辺之畑ニ而ハ未開墾之土地多有之候

一此辺ニ而菜園リチヤタメリシゾ等有之候畑ニ而作物同人之畑ニ而

付ラスルン候而種類生作仕候由ニ而作し

一モ之方並トーマス右之人共当所ニ永く住居仕候段又ハ右ト

而住居船等ニ而仕候段承知仕候

一船乗ハ此島ニ住居仕候仕様之者ニ而トーマス義も右同様ニ

船乗ハ右等乃病気ニ付帰国候而此地ニ而住居仕候

船仕候者共ニ而同人職業ハ工匠ニ御座候

一工匠ニ而当所ニ住居仕候段承知仕右之者手伝仕候

一箇之住所之宅ニ十人程住居仕候

一同船ニ乗組候者共男女一統ニ若者ニ而御座候既ニ当

長セーボルト乃名前承知申候

一十ヶ月程以前セーボルトハ当所ニ住居ニ而漂流し参り

候右ニ付同人ハ事ニ而住居仕候ハ船ニ乗り来り候

此島之通商之儀ニ付請判呈し

一此夫婦ハ独身ニ而参り候

一英人ロフシンと申者妻ニ而南洋ニ而同人之妻と

船ニ而参り漂流仕候

一此夫婦ハ子供当所ニ而候

一只今ハ夫婦之娘ニ而船乗ロフシン海洋

此之内ニ而娘ハ船乗之妻ニ而仕候

右之通ニ御座候

酉十一月書

一唐獲船ニて

一此船借家之寺中諸之此方不殘之通り 此品都合之致ス 且船買
上候者同並積荷新別ニ相成

一此被賣人ニ者相成候ニ付

一積賣拂船之ニ候

一只今ハ無之候得共 此ニ相成ニ付下ニ而

一差向入用無之ニ而 相成候ハヽ 買の下ニ而

一從霞渡船之者被 三四日中ニ相成候 洪入用ニ付 差上下ニ而

一新調之方 買入ニ候

一新調之分ハ 南島へ 相通ひ 渡し 上龜段取候 入用ニ相成候ハヽ
分難差与

一 蛇ハ無之亀鼈有之候哉
一 漁師有之鉤之形様承度申候
一 何処ニ而多く焚キ候哉
一 魚類ハ港内ニ而者一亀ヲ取候而已定リ魚市場ハ
無之候尤西洋四月比ニハ陸ニ集リ卵抱候ニ付多分有之申候
一 四季共ニ有之候哉
一 当月ハ西洋八月比迄有之申候
一 食物與へ飼置候哉
一 雑魚牛豚之如く塩漬ニいたし又ハ水ニ而洗ひ塩ヲ抜キ申候肉
之牛豚之如く屠味ヲ去リ油も取り用ひ申候
一 焼油ニ用候哉
一 松脂ハ燭ニも有之候得共透明ニ致兼候

一 鯨油を鯨猟船ニ而売捌候哉
一 漁猟致候者ハ売渡し候得共多分ハ自家ニ而用ニ備へ候て売出し申候
一 一ドルラルニ何程候哉
一 西洋三斗ニ而三ドルラルニ当り申候
一 此税政府へ納メ候而已ニ而并漁夫ハ差出し候而配分いたし申候ハ
支配向ニ而主人ニ売渡候給料等割渡し申候哉
一 法度有之申候漁猟ニ付
一 運上配当有之候哉
一 只今配当不致候漁民ニ配当いたし候
一 此民無人数何程有之候哉
一 三千九百人程ニ御座候右無之百者漁師ニ而者七歳ニいたしセイボレ
配り候ハ三拾人内男廿人廿三人男児五人女子三人ジヨー

ジ所ニハ拾壱人内男四人女三人男児三人女子壱人カレヒ是
婦ノ父ノブラボヲー一家内五人内男三人女弐人ヘパン男弐人の
ミ外美人壱人カナカ壱人都テ当時取使候者ニ無之候
一姓名ハ何と申候哉
一美人ハトマミ、シメサカナカ人とチヤヒソと唱申候
一セイボレハ出児何人ニ御座候哉
一四人ニ御座候而何も配当之者小児ニ御座候
一ウエブも何人ニ御座候哉
一壱人ニ御座候
一男ニ候哉女ニ候哉
一去ル懐胎中ニ而未相分リ不申
一当春以来出生候ハ何時頃ニ候哉

一ゲレヒと申者ニ御座候
一蘭島ヨリ罷越候者何人御座候哉
一ヤイボレ、ジヨージ、ウエブの三人ニ御座候
此外ニも相見へ候ハ配下之者ニ御座候
一殊ニ相勤罷在候儀ニ候哉
一セイボレハ子供多ク御座候処何ニ付蘭島ヘ渡来仕候哉
又ハ従来罷在候処何故ニ候哉四拾ニ候哉
一此度蘭陀ニ渡海仕候而欽望致居候ニ御座候
一ジヨージハ独身ニ御座候哉如何候哉
一独身ニハ御座候得共同居仕居候者ハ美人ニ而年頃ハ弐拾位
異名セイボレ同様取締仕候尤只今ハ其妻ニ相成申候
此度之節ハ参り候而其心得ニ御座候

一 其名并姓名ハ何と申候哉
一 ウリヨムケレと申者ニ而同人父其人之子ニ而身分高崎之由御座候
一 同人父ハ何と申候哉
一 先祖ウリヨムゲレと申候而
一 ウエブ之国都住居之旨
一 素ゟ職業何様職業醫師ニ御座候
一 此程セイボルト江戸往来せしめ候儀心底ニ而何く申候
セイボルト其名を切開之土地を見事ニ而候作り候様申候
切開場所ハ自然ニ切開之手ハ難見候故切開半多ク場所ニ御座候
何ゟ此方役人之差図を受候而其段承知候由
一 諸相候
一 此日ゟ五十二年前切開ニ場所一ト通り見分之上承り候

相尋候処支配向差出し候ニ付而承り右候ニ付標木差立候而一同段
其切開之場所ニ付セイボルトニも申聞候得共ニ付切
開諸所相改姓名代々申候
一 当村内セイボルト住居之場所セイボルト其人ニ切開候哉又ハ他人ニ
而切開候哉
一 右之セイボルト切開中ニ付カナカナ人其人ゟ申出候者共切開セ
候儀ニ付候
一 ジヨージと申者ニ候者村之方を如何候哉
一 新并ニウリヨムゲレ其人之名前承候
一 其他ハ無之候哉
一 ウリヨムゲレの父新開并姓名相続同人之子身分相続候
時之ハ新之地ニ而精々其他取扱候者ハ無之候

一ヱブし村方ニ而御座候
一商(?)付キーノームと申候所ニ在候ウリヨムメルチヤンプと申
者切組(?)人数凡西洋ニ而其外和蘭人加入候事
居候ハ和蘭人頭取差配いたし候
一材木之儀ハ山々ニ而伐取候得ハ四方七方ニ而持出候場
々畑地ニ植付候分ハ植木平原の山林ハ此方、所々有之候ハ
伐木難出来大薪等ハ伐取申候
一家作り二用ひ候丈ケハ切出申候
一山も茂り居候
一諸之石炭(?)田に所丈ケハ為伐御手当ニ而差図受ハ
上ヶ有之候由
一船(?)の作り二手当有之候

一山ハ自然ニ生茂り居候得共伐出相成候程ニ者無之(?)
一村方畑西ニ木ハ船(?)植付相成候由
一諸々植付候分ハ伐取切出申候、平原ハ難出来申候
右の通り(?)
一漁猟無之(?)
一山々ニ住居候獣類ハ近年猟取候ニ付難出来候
一都而之鳥獣ハ無之候(?)
一何れも放飼候(?)
一私之鳥スタツペル（アイランド）口羊綿羊麻バツク鳥之ハ豚羊此外ニ
牛豚羊も放飼申候
一右之山民自然ニ移住生育候分ハ猟師共多人数入込相働(?)
此方ニても先年ニ入込獣類放飼候處此節ハ居合も有之(?)

此放ハ不残生育迄し又何事も飼ふ事なく食して生育之
之我則此為天然自生し草木を食し生育いたし候ニ付則
是ハ草木我食し生育ハ気も我千遍ぬ何者も様子我
一 是ハ放ハ年中食し飼料も更ニ不足を獣
類ハ兄弟ノ如く放して諸生育ニ相成候
一 是ハ元ヨリ一寸是ニ様々相成候ハ難儀生育此為ハ日
毎ニ三百年以前ヨリ兄弟ノ屋ニ住むことニ候
一 是ハ草木食し候ハ獣類ニ放牧いたし候
一 日々屋為ニ生じ候草木ハ食ひ諸生育ノ獣類自然ニ様子
ニ成候ハ難儀ニ候
一 是ハ相違し候ハ新ニ移り候ハ物語ニ成候ニ付
動ク此為ニ放して其方ニ被成候ニ様子ニ候ニ付も人々ニ候
諸為ニ諸食此二月頃ニ頭ヲ此其ハ我旗ニ居候ニ付
年ニ同様ニ此方ニ草木ニて生育ハ物ニ而其方ニ而被ハ速ニ得ニ
ニ様子ニ候ハ此方ニも得手ニ様子ニ而花ハ当時ニ而相
を失ひ放牧ニ致ニ而候ニ付
一 自分ニ食料文ケニ様子ニ而当樹ハ以後も気ニ而し食
料ニ而ハ右日々生活ニ差支ニ候
一 食料ニ而文ケハ差障ニ候
一 我ニ獣類を様子ニ差障ハ入用ニ而諸様ニ而是ハ差障ニ而ハ
之ニ候し既ニ他ニ諸様子ニ而相成候ニ付差障ニ遣様ニ候
ニ付も様子を失ひ以来ハと深く諸品ニ付様ニ而ニ付ニ付候
一 此方ニ而も経緯ニ而ハ深く存候より食料ニ而候ニ付
様子ニ而相成候ニ付諸方ニ而以後代々ニ而相成候ニ遣様

[illegible]御座候

一 当地之戯場繁盛致交易利潤ニ付[illegible]差出候[illegible]

ニ付而[illegible]候

一 日本ヘ[illegible]開難之為[illegible]大ニ[illegible]

[illegible]戯場[illegible]八百[illegible]

[illegible]候

一 [illegible]人民[illegible]

一 [illegible]御座候

一 [illegible]手遠[illegible]

役人ニ[illegible]

一 遠ニ[illegible]候

一 既ニセイ[illegible]ハ先年賊徒ニ罹リ[illegible]候

一 [illegible]千八百四十九年ニ賊徒ニ罹リ[illegible]

[illegible]大凡四千ドルラル[illegible]候

一 [illegible]遠[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]役人[illegible]役人[illegible]法則[illegible]

[illegible]

一 法則[illegible]

[illegible]

一 法則[illegible]

[illegible]候

一 [illegible]

ニ而も有之候

一所々札板を御番所ニ以日本政府ニ而悪敷法等被成ニ

有之候

一其外ニ有之候

一右之頭取等之外会所者ハ通詞共ニも可取扱ニ而ブラボ

ソーカレン等ト申ハ蘭人之先祖ニ而成ル候

一通詞之儀

一役人ニ対シ候様ニ而幼弱ニ而も日本政府ニ而法律

諸国之儀ハ政府之道ハ心安く可致候

一所ニ而万事取計候ニ付蘭人ニハ[illegible]

之事件諸事相改政府ニ而厚く法律紙之[illegible]

取扱候[illegible]実ニ相成候[illegible]

一諸事之儀ニ而御座候

一ミヨージと申者ハ当時之法令ハ支那ニ而取扱候ニ付

へ申候

一難事ハ唯々草臥ニ而當時法令ニ而向リヨムケし

御座候事

一近年ニ而漢人ニ而人民之為ニ医師之道之蘭国ニ而

生し候様ニ而申候

一御法度相改ニ而御座候セイボルト之小児三人出来候

一セイボルトハ外の者共ニ而病人手当ニ而蘭国之者共

府之者共へ[illegible]

一セイボルトハ悪名コモツドールペルリより右之者共

一[illegible]ニ而蘭人共ニハ漂着致候

又此返翰之趣ニ而も能御座候哉
一前勅サンドーイツス嶋ニ住居致し申候 右船ハ美コンシール亜高
人一同ニ此合船ニ乗申候
一両島とも日蘭指南ニ候哉
一右之船ニ可有之
一美ミコンシール姓名ハ何と申候哉
一チヤルタンドと申候
一亜高ハ何と申候哉
一トムシト本所と申候
一平此何人ニ而取計申候哉
一総員凡程何人ニ御座候
一凡そニて何人ニ候哉

一何と申候
一セイボレハ同島ニ住居致し候哉
一ミニて同人ハ交易船此節も島ニ相廻り候節候
一ブラボニーと何比ニ移住候哉
一千八百三十四年ニ移住候
一美人ニて候哉
一葡萄牙人ニ御座候
一カレンハ何国之人ニて何比ニ移住候哉
一美人ニてブラボニー一同ニ而移住候
一ペヽンと申ハ何ニ候哉
一千八百四拾五年カナカテハイテ島ニ而取組十七歳ニも成候
一右妻子供ニ伴ひ下ニ至て是迄差越し候可ニ連候

一右条々

美人トマニ
一奴婢工匠ハ是レアル 洋夷建物等ニアリテ此使役ニ係ル
其代リニ此者ヨリ此連致シ置シテ寄シ候此者並居シ美
国ノ使又ヲコンシール之内ノ中ニ此世話右銭ナトアリ候ハヽ
此等所ハ引取候ヨシ

一何連モ日本湊ヘ船止ニ而国ノ夜指揮呉候事ト取紅木〆テ
一難船ナリ尚又同等船ヘ之其他商売ヘ取組致シ候ヨリ聖御
之ト定メ其後一日モ早ク帰帆致候ヘシ

一大工ヲ職トイタシ候此方ハ常ニ用ヒ候是レニ余リ不宜候
一木ヲ彫刻シ職ニ致シ候シテ唐ヘ交易ナラテ十分ニ宜敷
山白ヲ右ニ而人ニ世話ニ致シ候様取計候
一右之趣右之通ニ而何ニ而唐料ヲ以テ致シ候哉

一西洋人ハ右好ノ所多日本人ニモ使ヒ度ニ致シ候ハヽ此方居
構致シ蔵候事
一米ヲ食シ候哉
一右用候ヤ否
一茶ヲ右用候ハヽ此方ヨリ千斤壱斤ヲ致シ
一代料ハ引替ニ万民ハ自分ニ右好ミ不用買受ケ申候
一支那ハ是ヨリ此方ニ而日本人ニ右者申候
一葱油ヲ取蔵候桂附右職申候
一牢獄ニ而不宜候
一米ヲ少ニ取蔵候
一何程ノ国ニ而豆蒔候様ニ候哉
一三斗程取蔵候食用ニ候ハ僅ニ何程ニ候哉

一差向キ無之候
一ジョージも同様在職致し
一右差免し
一明日取戴之趣ニ付
一明白年取締役従前之取締役ニ被申渡候由

西十二月廿七日北亜墨利加合衆国之村ニ而セイボレ口封緘
一右居候船ニ付
一手紙を差出申し由ニ而候都内ニ而仰せ付候何地之諸国ニ而修
使行候
一馬碩土都内（マツサチユセツツ）フラップアータ仰せ付ニ而高名英コンシユルチヤルダヒ
亜墨人ドムシン同船ニ而伊太利居住二十二人商高船使作内
三人士卒罷色致し候右三年程三年紀ニ而多取
通交易仰付候得共中絶仕候
一右取締之人ニ而商付ハ如何之趣候由
一同国人ハリチヤルドブランチヤンと申者港古方切
開ニ而右商付同様ニ而ウエブ之際平作間之人
其人に十年前アーム島ニ而掛合仕候處人ニ嗹国（テイヌマルカ）之者

チヤルスヂヨンシン十二年前英吉利船ニ而此島ニ参り
人之儀ハ西人(マリンゼラ)千八百四十五年死去之人ハ西人オー
ルテンヒーチヤビレ文化十一年此島エ渡来仕候外カナカ之人拾七
人内マリージヤシ島人男女拾人男之分ハ別當村私方同居仕候
外ニシヤッコマリージヤシ島ミて女ノ分ハ病死仕候ミて島人拾弐人
男女人女ハ人何之英吉利船ニ而漂出ニ而島ニ住居当村ハミヤトと
申岩崎村住居仕候之人ニキーアームに参り居病死仕候
一此村方ハ悉く手ニ而切開申候
一私共之ニ而切開申候
一当年幾年ニ相成候哉
一白糖之儀ニ相成申候
一妻之何と申幾年ニ相成候哉
一メリヤと申当年三拾四才ニ相成申候
一何地ニ而出生ニ候哉
一イスパニヤ国ラドローネン島内キユアーム島の出生ニて千八百
四拾四年六月渡来仕候節ハ私同船ニ而居留当地へ移りゼラと
妻ニ相成候処千八百四拾六年夫病死仕候ニ付私妻ニ相成申候
一前妻渡来之節ハ何船ニ而参候哉
一英吉利船アレフランセスニ乗組アムルチヤムと申夫婦ニ而
同船ニて参候以上
一子供ハ何人ニ候哉
一女弐人男弐人第一女アキ子シホアバニセーボレ九才第二
男ホレスヘレスセーボレ七才第三女エレンセイシセーボレ五才第四
男ロバタセーボレ弐才ニ相成申候

一マリイジヤニ七島有之候
一島名セボートシビとアウエレントン島相見ニ而世界之人居レメヒキリとも唱申候
一右之島渡来船此島ニ渡来致大凡廿年程以前渡来仕候
一初渡来之比ハ三四ヶ艘乃渡来仕候得共近年ハ四五艘ツヽ来
八艘ニ三五艘も渡来仕候得共千八百二十七年ニ
異国申出此島渡来十八年前英吉利船渡来軍
西洋四人右島ニ差遣候得共ニ而又十二年前ニも
二艘甲船渡来前後和渡来ニ而美甲船ハ三艘渡来仕
一右件異国之船ニ而右島ニ別ニ住民も無之候
一全ク異人島ニ而外ニ異船渡来ニ而候
得共無之

亜船人名
十二月廿八日於大村被渡候　セイボレ　ジヨージと申
一右様御尋ニ付
一セイボレハ病気ニ而候如何ニ候
一此頃不快ニ付足痛甚敷罷在候
一当時ハ右都合ニ而罷在候
一右船ハ乗組病気之者有之候得共当時ハ差支無之
一右様相尋候ニ医師相尋候得ハ病気ニ而療治致申候
一右船療治之為ニ罷越候得共快気ニ相成申候
一此日右様之者御尋ニ付セイボレ而已ニ而乗組之者
居候得共此日呼集メ承候処ドルラルニ而申聞候
ニ差支候得共此度御買取ニ相成候得共右様之品
右相伺申候

一新聞紙

一我貨幣ハ大小銀銭各品有之候而巨細書付ニいたしドルラル之價記し

差出候ニ一覧いたし候處右之内大小貨幣之内ニハ外國銀も交り有之候

御座候ヘハ何々都合ニ不宜候ニ付此方之ドルラルと引替可申事

一家之構候者は可請取旨申上候 三ヶ村之義ハ何ニ候哉

一八折ニ候哉

理ニ金壹枚 一ドルラル　　銀朱金四枚 同

右同銭三十枚 同　　壹朱銀八枚 同

　　　　　　　　　　　壹分銀四枚 同

　　　　　　　　　　　洋銭三拾枚

我ら通用書付ニいたし貨幣古説夷村傳承致しセイボレシヤコ

の古人ハ大村傳承致しジヨージホーツレジヨーシウイレムシヨンプラボー

ウエレムケレシヨゼフガンレの古人ヘ古説

一ジヨージ印紙ニ候哉

一七挺ハ筒ニ候哉

一何之分御乗組いたし候哉

一千八百五十三年コモトールペルリ御乗組いたし此度之大将ニ候

一其所属ハ何之國ニ御座候哉

一今般来候ハ海軍之十四年大将ニ御座候

一何之為ニ渡来致候哉 病氣ニ付寫し為之候哉

一今病気ニ候哉

一亜米利加軍艦之何役之大将ニ候哉

一最初渡来之節大将ニ而候亜米利加之一艘ヲ以而渡来

大将ニ而候ハ船中少役人大将ニ候

一右之者之妻子等有之候哉

一年何才ニ候

一右船之者ハ壱人而已ニ御座候
一伝し申候
一ゲレハ何等ニ御座候
一此船も年前ニ参候
一此島ニ而相生し候哉
一右殿ニ参りし
一妻ハ有之候哉
一無之候
一名前ハ何と申候哉
一トキント申候
一何宗御信仰候哉
一ウイレンノメンと申宗ニ御座候

一何処之方向ニ御座候
一右道筋不相解四張ニ而参候
一何方之領ニ候哉
一何方之殿ニも宝有申候
一右地此府ニ来候哉
一右ハ右五千五年婦人二人商ニ参申候
一右候し者人ハ如何申候哉
一右人ハジヨージウイレムの妻ヲりし人ハ無之躰調和マ
ギヒトシカツタヲ組立申候
一此ハ何と申候哉
一千八百五十七年ニ参候
一ゲレゼ此処ニ諸人参し候哉

一三男者如何と申候
一ブラボーと申者今般来航何歳ニ御座候
一ホルトガル領ケイフワアダ嶋ニ在住四十八歳ニ罷成候
一妻ハ存生ニ御座候
一妻ハ三乙嶋出生之者ニてメレと申嶋四十五年ニ罷成候
一此度出帆来申し候
一千八百三十二年三人ニて出帆申候
一同行之人ハ四人ニ而罷越申し候
一右人ハ阿蘭陀者人ハガレンの妻ニ罷越候右人ハ三十才ニ候
一三十才ハ此度出帆ニ罷成候
一十七年以前美儀ジアスの商船ニ而組キーアーム嶋ニ相越候
一ガレンの妻右何歳ニ罷成候

一三乙嶋出生ニてベチセと申者ニ御座候
一四児有之候
一名不存候
一カレンと申者之人ニて此度来航致候
一美人ハ千八百三十二年出帆申候
一右人ニて出帆候
一ブラホコー同船ニ罷越
一何歳ニ候哉
一五十三歳ニ罷成候
一ウイレムの妻ハ何歳と申候哉
一右者十七と申嶋廿一歳ニ罷成候
一右之者此者共比村ニ住居仕候

一右様ニ相成候ハヽ
一ペパン之地村ヲ通行致候
一此村ニ住居モレンソト申者罷在候由
一寺院ハ何レモ此頃建立致候
一ペパン之カナカヲテハイテ島ヲ初見付候者ニテ四十五年ニ成候千八
百四十八年モレンヽ千八百五十四年セイボレの妻ト同船ニ
さし渡来候由 外カナカ人チヤールヽ并トームブウエスト
ゲレ右居住ジヨゼフ并ウイレムニ居住致都合五人ニ相成
一昨日よりセイボレト申者諸所ヲ巡く 百四十年頃ヨリ此島役人相勤
巡見し当時此村ハ大村セイボレ住居致し村ハ西村ウエブレ村ハ湾
寄村ト名付置候事ニ付 此節弁ヲ受候一同帰
一寺ハ三ヶ村共名ヲ付置候由 此節弁ヲ受候者共帰り候

此村名前付之儀ハセイボレニ相渡ス
一前書之通り日本国之貨幣ハ今より此島限り通用無之様致し為遣
渡し候ニ付 渡来之外国船並渡来之船等印も無之
差出候別段無之 旗ハ日本之貨幣並渡し候ニ付
先頃相定メ置候ニ付
一飲水之儀
一是又諸々切開キ地所巡見致候所右場所ニ標木相立置
一海岸辺之儀
一亜国ニドルラル之日本之印銀ニ而通用致候儀
一外国之者渡来リ候ハ右日本場所ニ而一定之価ハ無
之候得共此節限リ此方ニ而二朱ニ相定候
一外ニ住居之者ニ而セイボレ給料之儀ニ相渡し

一地面之儀ハ公使ニセイボルト江頼置候て差支無之様致し候旨政府居留之者ニ申聞候
一少しの地も未定り不申
一右船ニ而当地到着之上取計旨も申遣候得共政府居留之者無之
一カナカ表へ右品々積送候由 一日何程ニ付銭
一ドルラルニ而申候
一日々食料何程ニ付銭
一右食料之方ニ者合計凡一トルラルかかり申候
一セイボルトペルリ江書簡ヲ以地所之儀申遣候処村ニ而ニ付銭
一此船横浜江入港いたし候ハ、仕候等海岸通ニ罷在候
一何船ニ而茶積出候銭
一此方ニ而是迄参り候得共紙包茶比弁差出し置申候五千ドル
ラル拝借仕候

右申上候

戌六月十日

小笠原図書頭様ニ御渡御預り英人ウエフル江対話書

一右相替儀無之

一其方儀病院ニ於て療治致し候ニ付

三日横浜到着直ニ病院江参り候処療治仕候

二月

一医師共連越し右村ニ逗留罷在候節療治仕

右之通申候

私儀三ヶ月程以前より病気ニ付三四度罷下

一病人有之候

一当時医師共逗留罷在候

右之通申候

此時寄宿之遠路人ニ而除法候ハゝ

一其方所有之畑地不残いたし並木迄右之趣而之者より中渡
しニ而遠近之者ニ而一ヶ所之中村より申ニ付抽出之者拝借ハゝ付
不残いたし置候事

此書付一帋ニ而

一此者中より借請之建物買上中候ニ付其文之ニ付
会合之所申ニ而此方之者ハ此之文之ニ付候
此買上之者ニ而当座之住

一右ニ付建物之者并候迄ニ而左ニ付
会之者ニ而御座候ハゝいたし建物ニ而右之ニ付候之
其之者文此買之ニ付候而先之ニ付ハ

一此方之者近之建物共いたし候積りニ而御座候ニ付借請之ニ付

才之年ニ而御座候ニ而其方之都合斗り買入いたし
中方之處之先文ニ而給之者合之之者借請之一ヶ所ニ付
右建物之者当村之者ニ而此方之者安者之文
ニ而

一九本船一艘金斗ニ而買上中候ニ付
近比新造之船ニ而一艘ニ而船方之ハ

一右之船買上ニ而候ハゝ
十六ヶ月程之九木船割合造之為奥山之古木代
倒し抔し候事ニ而私所之者共之代

一其之先文金ニ而係此段右抔し節之中之先國以外ニ付
斗一ヶ月ニ付
並置候ニ而此程者ニ而此程者之者新造船

八尺ニ当リ一ノ仕様船ニ而居合見掛重ネ有之候
橋　第ニ而丸木ヲ以テ右近ク水夫楼　但此ハ船尾之処

一艾方仕立船ニ而作事前安帝稀ニ候柯と以中ニ而能ヲ以テ
中央ニ桁ヲ以テ分近ク大様ニ一ツ有之候
右船大形ニ御座候

一此程之紙内ニ而出候炭焼ニ而大キ成肉右之者行候
當国江渡リ来候

一右船ニ而乗組
右之者四程ニ而大勢一ツ有之候

一異国此方ニ而ハ遠鏡一ツ有之候但シ大サ[illegible]
焼方此方ニ而ハ[illegible]志有之候[illegible]西洋之方術ヲ以テ大様

別ニ[illegible]有之[illegible]大サ[illegible]迄遠方[illegible]
ニ而見候[illegible]
尤右仕候

一右ハ[illegible]右之者ヨリ買入船一艘ニ而[illegible]
御案内[illegible]ニ而
此時ウエブ[illegible]ニ而[illegible]ト申

一此船價右之者[illegible]ニ而
ニ千ドルラルニ而[illegible]

一積[illegible]
武器大[illegible]

一帆ハ[illegible]
帆ハ[illegible]橋ハ[illegible]

一 右者此方ニ而元来借受ニ相違無之旨書面を以差遣可申候様
ニ而金二十ドルラルニ而買受候由ニ付
右証文ハ
一 明ケ年様畑地不残耕作致有之一ヶ所ハ
右証文ハ
右之通ニ候

四月十六日 同所ウエブ 對話書

小笠原島沖湊村居住致居候英人ウエブ所有之畑地不残
ニ為同（日）人実同ニ而借受候ニ付證文取置候節ニ右様相成候
一 右證状写ハ
一 （エブ云）此とノ東之方ニ當ル奥村セーボレ書之持地ニ有之私持地ニ而
此とノ北ニ方ニ而私之地ニ而此所ハ私地（附）ニ而地不有之候ハ
一 只今之地（附）ニ而場所ニ而以後ニ而右地ニ而相違（無）之旨
鍬入之地所迄此方ニ而國民ニ而地ニ而稼之為ニ而此方
右ニ而手入之迄致候ニ付以後ニ而右ニ而持地ニ而相違無之候
雑用等此地二ヶ所ニ而如此候事
一 當年同一ヶ所ハ

此村ヨリ少シ上ノ方畑地并家屋有之候

一此所ゟ二十町程入込候所ニ遠近ニ而所々ニ十町程持地并種芸致候

雑穀作り候

此村南地ハ有畑地之事有之候処此所一ヶ所有之　湿洋

草花之植置候処地所ハ其外所々ニ少々有之候

一此所者右草木繁茂致候ニ付

雑穀作り候一躰此辺カナカ人共老人地面

少々宛出来申候此分ハ私引受候

一但カナカ人之地面之所引掛申候之

地之残百五拾年余ニ船之異人共居住致候ニ

右引掛ニ而カナカ人共ニ十一万十勝手ニ他所ヘ不

相成候様被仰付候

二百年前ニ過キ英国人一人此所ニ住居致

船乗り八ヶ年前魯国亜猟船為渡来ニ而参り候

一去年魯西亜コモトールフーチヤチンニ而船ニ乗り参り候

右魯船ニフレカットハ船ニ乗組被差遣候船ニ帆

船者被成候二本檣船ニ而被差遣候

船ハ名前ハ分兼候此辺ハ降り候

之人一人渡来致候処八ヶ年前ニ而之居住候

右之指潮続き

二十ヶ年之此辺迄参り候ニ而致シ候

年々此辺迄ニ人住居候処潮押ニ而

一右所ニ一ヶ年程住居致候

大概一ヶ年ニ一度ツヽ参り候

一颶風毎年有之候哉
私当島ニ罷越候以来颶風無之年ハ僅一ヶ年
ニて其余ハ毎年有之候
一毎ハ何月比ニ候哉
専ら西暦八九月ゟ十一十二月比迄之内ニ有之候
一去夏ハ有之候哉
颶風無之中ニ相過し候得共一度ハ随分暴風吹候
旨申候
一畑地ハ如何様之作物作り出来候哉
私持地者一ヶ所ニ而植付不申候
一兎角干候
去時ハ果もの年地湊ニ而千年続西方ニ茂有之候

其内此場所私ニ相任置申候処一両年以来
漢人共を雇入畑作り大概蔬菜地ニ致し遣申候
一子細ハ申上候通り当時荒廃致し居候地所之内ゟ
出来候ハ植付ニて此場所ニ而追々右畑地並ニ雇入候
積ニ而入用之銭差出し候ニ付右畑地作り不申候
右之趣ニ御座候
雑穀等ニ候
一其方宅ニ同居致居候英人トマン上申者ハ農業を以年来
致居候哉
以前職業を離れ農事ニ出精致し右宅ニ居
重ニ薪水之労を相勤居申候
一二十才余ニ見受申候哉

以人之商売事当所ニ而相勤候ニ付剥取申付
右者共ハ年々此方之者旅猟仕候ニ付猟料ニ
本数取置申候

一此方之者共ニ而も皆買取候紙帆檣木取寄候而雇中致
手前ニ而此方之衣料大ハ大抵ニ而ハ一ヶ年ニ右之者共交易致
私共之ハ其交易仕候処当年ハ中々然ハ渋
諸色仕候事

一松前之職業ニ而仕候帆檣仕候ハ凡弐年一ヶ年持候ニ付方段
宅此方当人ハ此中出来申候
此節仕候

一大雇ニ而節ハ并硯箱之外ハ何ニ而も無之候越
此所[illegible]ニ而

一[illegible]仕候[illegible]筆ニ而

戌二月十二日 於西蝦 美人トマシマツレロ

一右稼候申候

一却而此西在所ニ而般扱者共当時迄之外ニ付てハ建
家業仕諸器稼此方之都合[illegible]先之皆被仕候
之内西数付し置ニハ[illegible]都合ニ而し宜敷ニ存し

一古稼ニハ差之当人之稼候節ニ而此後様ニ仕候ニ存候

一此方之ハ年々宜敷ニ存し
此付白米七升 煙草七把 但し小刀剃刀十四本[illegible]美濃紙
五帖[illegible]トマレマツレ ウリヨムアレンコ両人へ

一右之衆[illegible]一同ニ[illegible]一所

一難有[illegible]仕候
[illegible]十四日[illegible]三ツ紙様

口一若危険之節ハ手拭十四節手延数[illegible]人之者、提燈[illegible]入[illegible]

一右掛者[illegible]合差出し候

一疑[illegible]料[illegible]

一商船伺出方願候者ハ勿論縦令一時滞在ニ候共右者ニ於て規則書

方候ニ付進も可相固く相守可[illegible]無[illegible]相[illegible]方候ニ

港規則書又為心得方候ニ付委細[illegible]ハ増割可致候

此付規則書港規則[illegible]

一セイボルト人々[illegible]状[illegible]之通[illegible]

一[illegible]義[illegible]

一右当面申[illegible]規[illegible]一件[illegible]大[illegible]

百余年[illegible]以[illegible]人[illegible]中絶

[illegible]以来[illegible]人民[illegible]直[illegible]

一右[illegible]細中[illegible]

一只今之商船往来[illegible]者も何迄も永住[illegible]又ハ便[illegible]

[illegible]地[illegible]ニ付[illegible]

一何迄も永住[illegible]此[illegible]商[illegible]

哉も[illegible]ハ[illegible]化[illegible]

一変化[illegible]何[illegible]

一[illegible]開拓[illegible]

一以来[illegible]人民[illegible]開拓[illegible]永住[illegible]

[illegible]畑地も[illegible]切開耕作[illegible]

一右[illegible]安心[illegible]民[illegible]永住[illegible]

一[illegible]之切開耕作[illegible]此[illegible]切開[illegible]

場所[illegible]役人[illegible]免許[illegible]受[illegible]地[illegible]

七ヶ土地之儀自侭ニ切開ニ事ハ難成候事

一 移住之者ハ其所ニ而切開キ畑地ニ致シ外ニ切開ニ相成候者ハ依而合之
拡ケ相成候上ニ而外ニ而切開候所ハ定之通相成候

一 山ニ生立候材木ヲ家屋建方又ハ薪ニ用ニ供シ候儀ハ
伐取候場所相定其場ニ伐取候儀差障リ之節ハ差留メ

一 無用之材木伐取候儀ハ是迄相慎シ可申事ニ付保護致シ
猥ニ伐取候儀ハ不相成候 尤届出可申候

一 夫ハ港則相守候上ハ洪水ヲ相防キ候儀ハ不届之事

此付港規則書読聞候

一 港規則書ヲ新ニ立候者ハ一統之者共ニ申聞候事 急度相守

一 規則書之趣旨能々相守候上ハ諸官可差出 尤セイボレ合差紙文例ヲ差出シ
以而一統ニ申渡シ置候事

一 不寄何事ニ而も右之外ニ申立候者ハ可申出候事

一 何事之死骸有之者ハ不可取隠候事

一 是迄規則定メ候ニ付取扱ニ致シ候所 当分之処此段
右之通規則書を申聞候ハ 可申出候

一 無届ニ而其所ニ乗入候儀ハ不相成候

一 無届ニ而乗入候者ハ規則ニ照シ 港則ニ而取計候事

一

此付港則読聞候

一 新築之所ハ港之近辺ニ相定候事

一 右之儀ハ役人ニ而可申出 乗組之者共ニ申聞候

ヶ者共ニ而以外之者ヲ追出可申事

一 乗組之者ハ其所ニ而差出シ可申候事

一 右船八十四日目ニ出帆二十日船 当所滞留 致候事ニ付追々

諸品追々下落相成候得共当年ハ於当地當時不案内之人
差向諸品高直ニ候
一 夷人越来候ゟ物価高直之趣ニ相聞候得共左様ニ無之候
一 日本人民共相対ニ而ハ日本之貨幣取交通用致候而ハ不都合
ニ付当分之内右様之取計無之様
　此外貨幣之儀者先達而御談判之通
一 外国貨幣を取交通用致候ハゝ万一差支之儀も可有之
候ニ付日本貨幣ニ引替候様ニ相成候ハゝ何分ニも引
替可申旨人民共承知致候間外国貨幣も引替可申候
取計方之儀ハ引替所之儀も御差図次第可致候
一 委細之儀者重而申談候様ニ可致候旨
ニ而相成候ハゝ弁別可致候

一 當時諸侯之領分ニ而ハ年々米穀
一 諸八ヶ年以来ニ當時ニ而七ヶ年以前ゟ無之候
一 同所ニ而ハ越前ニ而越候
一 外国之方ニ而ハ
一 右之儀者無之候
一 千八百四十三年米国 和ジョージボールム之儀来病気ニ
付船長ハ申立永久之儀相成候而者無之候而已書付持参
右之通目ニ掛可申候
　此外書付持参之上當地ニ而談判可致候
一 諸品差向之方高直ニ無之
一 外国之
一 其ハ何処ニ而も宜敷候

一右返答之節キンシメールグルーフ詫寄し申ものに候由
一宗旨之儀尋候哉
一答ハ不申候
一此者共ニ相尋候処当人ハ何人ニ而有之候哉
一カナカ人ニ而御座候右ニ付二ヶ年以前ハ和夫婦カナカ人共二人有之
ニ相成候而漂流致シ而クルーブ諸島ニ而取戻候処右之品自分の物
和も御座候ニ付年船迄同七人ニ而在住致候処蘭和ニ而残候
一異人ハ幾人居候哉
一船のみニ而有之アレとハ黄人ニ而亜米利加之属嶋ニ参り候ニ付
居候カナカ人ニ相尋候処此者ハ相尋候老人右三拾ヶ年以前クーー
船ニ而漂流ニ而漂着致し候由此辺嶋漂流船ニ救ひニ而ロンドン嶋ニ
漂着此所ニ而右漂流船漂着し宿取船ニ而救ひ無是

送り貰候先ニ而何分難渋之上二ヶ年以前便船ニ乗し当嶋ニ漂着罷在候由
一三ヶ所幾人程有之候哉
一拾七人ニ相成候三ヶ所ニ而此嶋ニ罷在候又ハ何方へ参り候事も有之候由
一三ヶ所幾人程ニ御座候哉
一九人有之候由
一九人之内男幾人ニ候哉
一男四人女五人ニ御座候由
一此方ニ罷在候七ヶ年居候夫ニ而有之候哉
一三人之内三人者先年死失候由
一右人ハ当地ニ何人有之候哉
一此者人ニ而御座候
一男子有之候哉

一 廿歳頃ニ御座候

一 母名ハ何人と申候哉

一 父母共老人ニ而同船いたし難船

一 アレン嶋ニ居申候哉

一 居申候

一 何処ニ而出生いたし候哉

一 三七嶋ニ而出生いたし候者ニてセイボル妻ニ而同船いたし難船申候

一 七ケ年以前父嶋津浪之節当嶋ハ如何ニ候哉

一 私共三七嶋ニ難船いたし候ニ付而、其節ハ家財其外悉ク海岸ニ上
家々も流失いたし 僅ニ御座候

一 人家何軒押流し申候哉

一 壱軒も流し不申候

一 年ニ当月ハ大雨有之候由 父嶋之儀ハ如何ニ候哉

一 時々有之候得共年々ニハ無之候 併日輪赤道を越
候節ハ先ツ大風雨有之候ものと存候

一 颶風ハ如何ニ候哉

一 昨年一昨年之儀無之、去ル十二月ニ大颶中山氏之掟八ケ年位
為ニ致し頃 以前も有之 知レし事ハ無之事ニ御座候

一 何月頃有之候哉

一 時節ハ更ニ一定不致候得共 先春分ハ無之 多くハ秋分ニ御座候

一 四ケ月以前父嶋ニ大風雨有之候由 三七嶋ハ如何ニ候哉

一 三七嶋ハ当嶋与同様ニ御座候 大風地ニ三尺程海潮ニ御座候

一 三七嶋怪我人当嶋ハ無之候哉

一 当嶋ニ而も怪我人ハ無之候得共 作物損シ候ハ如何ニ有之候 難儀仕候

一當島周廻リハ何里程ニ御座候哉
一四方船周廻仕候
一此所湊場所何ヶ所程有之候哉
一東方ニ三四ヶ所北西ニ一ヶ所有之候
一右之内湊場ハ船繋場ニ適し候方向ニ候哉
一第一宜敷場所ハ南東之方向ニ有之候
一右船付之場所延居人上陸場合如何平地有之候哉
一此島之裾之場所ニ平地有之候得共至る狭隘ニ御座候
一右村之外住居之地所有之候哉
一更ニ無之候
一島中最高キ山ニ而ハ何程ニ有之候哉
一有之候

一島中住人ニ而者同様無之候哉
一夫々糧之為ニ耕作仕候
一当所之家毎ニ清水之用ニ外井戸堀候而も水湧出申候哉
一二三尺堀候得者少々之清水湧出申候得共夏分ニ至り候得者
　若者水切レ夏ハ乏敷候
一種物穀物ニ付差当り当時耕作試験致度候
一就而ハ当地時節ニ寄候而当年之如キ寒暖不定
　之儀候ニ付而ハ無之候
一例年之時候ハ如何ニ候哉
一平年之気候暖気之時節之如キ寒気之気候ニ無之
　此月ハ殊ニ暖気ニ有之
一猟漁之外何品有之候哉

一 點之事候

一 鎭須殿ニ年々 義務仕候哉

一 年々ニ申渡ニハ勤之中太郎年七三歳 被申渡 内者勤分ヲ 学校

江戸往来ニ而交易可致候ニ付 書籍相帆二致セ 鎭須殿

花之實 沸湯ニ而 祓候交易候

一 春雨之ハ何を獵とし候哉

一 父ハ書記役ニ出勤致 申候 私ハ幼年ニ而 家業を勤申候

一 母親ハ存生ニ在候哉

一 母親も存命 親類も存し候

一 兄弟人 既為其母 通行致し候而ハ 京都ニ出立候

一 其方小児等之日本語を教候而ハ 定め之下知に候

一 教師ヲ以而も依頼ス 御来可然候

一 其方ハ其日異人稽古候として請ハ者也 何卒稽古可ニ

陪し

一 承候 其方ハ異人日本語を教授致ス者ニ不都合之儀有之候

一 其自由ニ讀書可有之事

稽古之筆写

戌二月廿四日於大黒屋亀田西島御対　美人トマシマツシ江

一 右様相済ル

一 四ツ時も壮健ニて陸奥守様御老中も始多人数承り帶刀殿被召出

従是申聞候諸ニ而[illegible]シヤールム[illegible]出帆内ニ相成候上二相成新ニ

且又方ニ而都合ニ無之候ても[illegible]此方ニて差支都合宜敷[illegible]

尤帶刀先方差支候

一 当年中例年之通談判相持付時節左様候付昨今廿日發足

此ニあり候得シヤールム主人おゐて速ニ差越候文ハ無之尤差上

植付等も急く左様ニ可申候

一 已刻半頃面談者共も申之是迄尚延々ハ左様之付明日出

急速返答有之段申候ハ明日又ハ明後日ニハ御申聞

一 是ニ而[illegible]之刻[illegible]

一アルニア之仕事ニ而電信線之事ニ付別ニ不都合ニ無之候ヘ共ニ付度く
此方ニ而も可然旨申之 王方ニ而も程能の様ニ談判し
一右仕度ニアルニ史婦并カナカ人土人共仕取扱法相極し
予依法貸渡ノ為其事件究助セトモ其通ノ当人ハ依ち而已ひ候
一仕候様候ニ付右ニ付若者ハ二王方仕取し方ニ引越別ヲ混
雜ひ候し不都合之候ニ而存候
一後ニ付しるもニ而申候而 右之不都合之事存候
一シャーム王ニ付積極者野陣して右之迷惑ニ而夫ゟ仰出候 應ニ而附
然る周旋ひたし候右王方へ為し其段申出候
一右細ニ而申候
一此船中ハ殊ニ鶏卵等積出候所船中 食糧 之義前之節ニ付
一同材等段差上候

一此等ノ事ハ以前も商社之差出者共王之命ヲ受相送り候
諸税等支払方之儀 併せて和差ニ而相成
取載候而和合ハ差出候
一其之切開ノ地ハ王方持地之儀 分緒周囲ニ而 坪数等
ノ差出候而名判し 上ノ差出ハ 掛置も所ハ面積
此ゟ周囲之候而其地ハ之分ノ段候
一派出候
一王方ノ外地ハ切開候ハ 者無之候ハ只今取極無之も可有
相成候得共出ス日相成 人民共務 開発之場日ニ存識
論も生し候ニも 以外ニ付只今取極之取極無之
一右相成之ニ付し
一右緒周囲 王方名判之以後 仮令如何様ニ而も取極取く

一こしか村地ニ有之

一離島ニ付

一規則書交書差出候處右之内カナカ人名前書出之年月見候

然し分別無之候差遣置可申候

一明日差出可申候

一此島ハ早晩より無人島ト唱へセーボレ何故歟無之唱と共ニ総名小笠原

島と申候ハ凡三百年程以前名付[illegible]ニ而年内ニセイ

おし[illegible]唱し右之者嶋名之者廣く父島と名付兄島ハ

三ツ嶋ニ付母島と唱へ候もの[illegible]

一西島之儀ニ散布ハ五島之内姉島妹島姪島聟島向島と名

付ケ右之[illegible]

一右之島名何れも[illegible]ニいたし[illegible]

一別當附ニいたし置候事

此時小笠原島ノ内父島母島ノ内兄島弟島村[illegible]奥村大村宮

ノ浦母島ノ内姉島妹島姪島聟島向島沖村向港北村日

港南浦西浦乳房山釼先山 右之外村名[illegible]

一何之地面[illegible]村名[illegible]細理加入[illegible]先ハ[illegible]

一[illegible]

一[illegible]持地見分[illegible]

一此島内可[illegible]

一[illegible]耕作[illegible]

一ジムトヤハカナカ人[illegible]新規[illegible]

一[illegible]切越し耕作[illegible]持地[illegible]植付も

[illegible]新規ニ[illegible]切開[illegible]八[illegible]

一番細取引所有耕地売渡場所ニ候ハヽ[illegible]
一是迄外人居留地之内[illegible]貸渡耕作可致所[illegible]
之持地ハ難相成候
一番細取引所外国人[illegible]居留地ニ[illegible]
相成候[illegible]
一[illegible]候ニ付[illegible]所ニ引[illegible]
一[illegible]地[illegible]
一棒木柱込限[illegible]
ニ而新規切開[illegible]場所二ヶ所[illegible]
一[illegible]持地ニ[illegible]
一持地ハ先[illegible]
一明[illegible]

戌二月廿七日 [illegible] セーボレジヨージウヱブジエーリト
一[illegible]
一[illegible]畑地[illegible]杭建[illegible]
[illegible]
一[illegible]
一セイボレ[illegible]保病院
[illegible]
一[illegible]
一[illegible]東山[illegible]持地[illegible]
一三年[illegible]
一[illegible]柱付

ら共も当村其外之地ニ居候所ニ而ハ持地ニ離候段ニウエブ持地も自分作付
若し何地ニ而も出入之節ハ委く取ニケ申候
一邦三年前之ち作付候ニ不遠差し其当和ハ和草創ニ開墾
いたし候得共和持地ニ而佗住居申候
一眼前荒地ニ付てハ上ハ何方持地ニ不拘兼併候明地ニ付差出
申ハ此方入用ニ付之耕作可為候
一ジエーリ所ハ当村和方田地等ニ当地ニ而ハ先ニ右之明地し其之流
候得共ハ差当り居宅ハ荒し候も返り〇当地ハ和方ニ差出し候持地ニ致し候ハ当惑ニ付
一夫ハ規則ニ付共も差り通り開墾方致候節ハ程能相成候ニ付其地
和役人ニ相願候上此地ニ限り本中此方差支ニ候ハ和方候也
一ジヨーリ作し如く候
一旦而ハ其方差支ニ付ハ相成候

一ロ 所和持地候 此村セイボレ持地ハ其内ニ而在
一若し是迄和人管得中央地所差配四方境界を持地と見合見之
同所其外ニ方同所ハ不供しテニ相成し候
二作し前合委しく持地ハ不残差出し候也
一月美亜石風習ニ而ハ三万両和持地所当所ハ不供差ハ二
百分宛委しく其方ニ委しく相ニ相成申候程和之地ニ差出し候得も無之
不供等ハ如何ニ而も其儀其外ニ而も差出し無余食ニ
此丈ケし澤等作り此丈ケ地和人ニ而可然候得も然し
一元ニハ此所見石居ジエーリ口中差出如く荒蕪之所ハ持地ニハ候得共既ニウエブ餘
〇付しし和人差し即し此土等拵付差し此ハ作付ニし等丈ケハ差出し
〇去地ハ持地ニ而方其之積中和之者し候得之儀一其方ハ引居之如く
委ク先夫ト中委々荒勅当和切開程差置候も当所ハ持地ニ
一上方境共皆中候委可候得 委ク中も当村ハ娘取候 此ニ差し手

方ニ再嫁シ亡ハ竹千代ト称ス是ヲ以テ嫡子ニ付又其持地ナキ
当ニ付其地ハ雑元敷也然此土ハ御預ケ置シ其相続シ勤気ニ
以先文子供ヘ預ケ候ハ、丈ハ持地ニ而俵米
一 雑ニテ竹ハ其他ノ地ニ而高付譯等作付置シ又其収穫高等
一 旦居リテ子供ノ為預ケ置キ其他ヲ総テ又山林官林ト南山林
一 寄之見慶延ス此方面並打掛之両ト総引後ト作付ケ近シ之ヲ以テ山
官林之外ニ所屋来シテ同様山林之外之所屋有之候
一 東ハ山林ハ流泉ヲ限リ南山林之通筋丈ヲ際ニテ境界有之候
一 日 弟ノ代ノ雑土ニテ有
一 嗣ノ代ク
一 千ノ方持地ハ山居リテ入廻リ其内又居線回元網居ノ此ノ方ニ土振出候
一 此ハジヨージ持地其もし又分此ノ旨ニテ高ク又居リ候

一 嗣ノ分ノ代
一 又旦旭山ヨリ宗鶴ノ御先トシテ千振此方拵家継シ右拵山
中ニテ宗鶴又職ヲ継ギ右ノ処御先ニ為ニハ此職
一 此宗平ニテ三羽鳥之職ヲ継シ由ヲ申シ者御先平ノ為ニ
其後干物ハ焼失シ然ルニ其後モ干通ニ在数有之以前焼候ニ
一 此宗平ハ鶴ノ為寿中ニ此ハ其家ニテ三万石ノ家右衛門由ヲ記録ニ
シテ此為蓄積ヲ以テ此ノ事之と存
一 日 従鶴ハジヨージ先年此方ヘ住居ヲ移シ候テ逃ケ候為ニ有之候
一 此面ヨリモ気ヲ付ケ山ニテモ又職ヲ嘗ジヨージ之者ノ為ニ是ヲ以
此時ジヨージ持地ハ室内ヘ境ヲ海岸破家有之候也
一 ジヨージ 此河ニ外ニも抽樹并芭蕉等を植付有之持地之河ヘ西ト南ハ海岸之中也
其町中程ニ有之ハ其外南ハ山根ニテも御ク畑地有之候

一此地面ハ五町四方ありカナカ人へ賣渡し地面ニ御座候
一右御座候地面畑地家屋共ニ引續百四千ドルラルニ而買請申候
一畑地家屋共右地荒廃致候ニ付只今以手入し此例ニハ難相成
一作り畑荒廃致居候ニ付五十ドルラルと申候而も有之候
一先此分毎年中ニ而も賣候而も五千ドルラル不買入ニ而者代料
五百貫当方カナカ人へ賣渡ニ而取引致候
一カナカ人ハ地面賣渡ニ而取引致候且借地料差出候
一右ニ而買入ニ者代料差出候而者右代料差出申候
一家屋者
一書付差出候ニ而者一同退散可致哉
一候得者引取可申一同承知いたし候
御座候事

小笠原嶌新聞紙

小笠原嶌大港の内なる洲崎村より西南十丁計を隔りたる海面に高さ十丈に餘り周み十二三丈もあらんと思しき岩石の突出したるところ三ッあり其内の一ッを西洋千八百六十年十二月朔日大颶風の起りたるゆゑ紀根の程より吹折りて海底に沈没しけると称す大

洋中の怒風實ニ怖るべきことありたまし

此嶌の樹木ハ筏なとニ造りても更ニ浮むことなく忽ち水底ニ沈め里行まも堅硬なるもの故なりと

此嶌ニ近く西南ニ當りたるイースト嶌ボカベ嶌人ハ當今猶人肉を食ふといへり

スペーム	鯨	長 四十五フート	脂 一バレール	價 四十五弗
ライト	同	同 六十フート	同 同	二十弗
ボウヘッド	同	同 六十フート	同 同	二十二弗
ホムベッキ	同	同 四十フート	同 同	十六弗
ヒスベッキ	同	同 四十フート	同 同	同
モッスルチッケル	同	同 三十フート	同 同	八弗
ケレムヒユッス	同	同 十八フート	同 同	十六弗

キッレル　同　朋　同　十八フート

ブレツキヒス　同　朋　同　十八フート　同

但シ一バレールハ二頓八分の一也

此嶌に一種の毒木あり夷輩其皮を嚼たるに舌縮れ全身に麻痺して卒倒し漸くにして下剤なと服し辛くも快腹せり我其木の形状を見るに内地にて鬼志ばり又夏坊主と唱ふるものにて漢土にて云る白瑞香なるもとも此地に生するものハ殊に苛烈なりと見へたり

此嶌の大港に鮫多し大魚ハ六七間小魚ハ三四尺位にて能人咄を食ふに大なるものハ舟行の人を逐ひ小なるものハ游泳の人を食ふ

此嶌の鶏ハ雌雄山にそみてよく子をなし　又よく

時を知るとぞ

或夜竊に蠵亀来て第屋の庭の片隅に入りて數百の
卵子を産み土を覆ふて其侭に帰り行ぬ主草物の
陰より是を見て思ふやう此卵子幾日にして孵るや試
みんと其日を數へて待し程に五日目にして
卵子不殘孵り蠕々として地中を出て長く一筋に續き
海濱に出て去りしとぞ彼至愚なる蠵亀の子乃
生れながらにして水の所在を知るなりし實に天性と
言ふべきなり

此嶋の人民は往古より痘瘡をやみたることなし

文久二戌五月朔日墨国捕鯨船一艘入港せり然るに洋中
にありたる不幸なるもの在しに居水夫とも八人
いつともなくこゝに名せし嶋の山中に人の住ひもなき

所に食類を携えず雨露にうたれて如何様のさま
をなしゝ日の久しきを堪るにや先ッ頃に鯨
漁船の水夫一人奔りいて此山中に入たるまゝにて其
跡晦まし去らず是等は死亡せるなるらん可哀人の情態
なる又かなしかりたるものにかくあはれ計りかたし
去に船中の人員かぎりをゝ減し　たまへは是より航海
成しがたく船長セーエルセンクスといへるもの　いたく迷
惑のさまにて今に大港に碇泊せりあはれに此船長
なる水夫の使役殊に酷烈にして犬馬の責尋常ならぬ
すと見へたり

外国捕鯢船乗組の給金は年月によりて定むることはあらず
を捕鯨の多少にて是を渡すと云ふ

鯨油百八十樽の一	水夫	一人
同八十樽の一	檣取	一人
同四十樽の一	第三等按針役	一人

同三十樽の一　第二等同

同二十二樽の一　第一等同

同十二樽の一　船長

但一樽ハバレールト日本秤量三十二貫程ニ當ると

母嶌の人家ある所ニハ暑中も絶て蚊の居ることなし然れとも茂りたる山林ニ至れハ往々蚊を見ることあり

此嶌ニ来りすむ夕ハと云黒人ある文字なき嶌の者ニて言語も通せさるの故ニいつれの嶌人と言事を知らすむといつ方の洋上ニて難船したるにや小船ニてたゝよひ来至今此嶌の者とハなりぬ夫より漸く妻を娶り児女五人を設けて今の大かたニ其身を送り侍るか

父母両嶌中ニ住る者ハ輩ハみなく若き妻を携ふら

ち見る處年の程ハいつれも二三十計りも違ふへ
しとおもはる英米等の本國ニ而一年若き妻を
娶れハ一歳夫の野畜の銀子を官へ出すの掟な
れども妻の年十計りも違ふ時ハ過多の銀子を
納むへし（十つきはなれ）夫に後れたる時官より
孀婦の養ひの為め料なるを然れとも此島にあり
ては右様の制度もなく或ハ我妻と人の妻とを相
對して取替抔しても誰々恥へきものもなく唯生
業おたに納めさへすれハ其身一家の全權もて恣に
年若き妻なとゝも相住せ此上もなき快樂と思ひしや
盛なる父母の國へ歸らんと思ふ念もなくいつまでも
年久しく此島に安住侍りぬ
先ツ頃米國捕鯨船より忘名（亡命）ありたる水夫共八人
の内三人のものハ去る程いて来り以外五人の者ハ行方
もしらのちわかれたれとも左のミ此港に滞泊なり

かたしとて日本の官舎に訴出ましに五人の者共
りて来るハ官より捕へおき給はりたく此頃乃
内に又こ入港其者共を請取賞を出さんとありしが
定めて五月十五日に開帆せしかくて奔りたる水夫
とも初め去りし日より廿三日目に當りて出来り
日本の官舎に申出各々愁苦を述て其身のな
りゆきなど来りしとも元この船主よりの懇願あれ
ばかりあらましすこしあらためて免角此處に留め
おきたり

第二号

小笠原嶋新聞試

嶌中の熱度九十六度程ニ進みたる時日本製の蝋燭を日乃照る處ニおけハ忽然流動して其形を失ふニ至る此故ニ燈臺の掃除をなす之せんとする時其侭是を大陽ニ照らさしむれハ蝋涎忽チ流れて全く水となるなり

此嶋に来り住むカナカ嶋の夷民ハ男女老少吾年
齢を知るものなし　是其本嶋ハ文字なくして
無暦の嶋なれハなり
去ル五月朔日亡名したる米國捕鯨船水夫の者共
再ひ出来りたるにすり後にすこしの日をたゝめて去ル
濱影の明家に住しめおきたる折のから兼ての約に
よりて其後本船来りたれとも水夫等の見かたん
事をはかり遠沖より小舟にて入津したり然れ共
水夫等目早く是を見附て再ひ逃去しのハ此度も
最早其侭なり捨おく座しとて船主ハ空しく本船帰
りぬ其後六月廿日入港したるサントイス仕出しの捕
鯨船を見懸ケ亡名の水夫共又々出来り船主に歎き此
船の乗組となりて無程出港したり其生活の故を問て
前後五十日餘り程山中又ハ濱邊にありて蝸亀又ハ木
葉草根を採て食せし何きも恙なくたましのくらい居

きりとあり

同船の船主對話の序ニ曰クサントイス嶌ハ舊古一箇乃
嶋嶌ニて猶カナカ諸嶌の如し嶌王の定りたるハ漸く七
十年程以前の事なり今の嶌王ハ第三世の人なり
近頃二十年前まてハ好て人を食ひし故ニ英国名家
の航海者ニてコークといへる人も此嶌ニ渡りし時土人の
爲ニ食れしといふ

又曰無人嶌の近嶌ラトロ子ン諸嶌の内人ニ食ふの嶌ニ以
たきハ英佛の軍艦をいへとも堅く上陸を禁スとさのみ
緊要の事件もなきニハ上陸六ヶ敷ヶ故なり

又曰今より十五年程以前東洋中ニて日本国難破船乃
漂民ニ逢て救ひし事あり元大坂仕出しニて紙と
蜜とを積ミ江戸へ渡海の折からか難風ニ逢ひ九ヅ洋

中ニ三ヶ年漂ひ居しか始めハ乗組十五人ありしとも年々
次第ニ死亡して漸く五(九)人ニなりし何れも垂死の際ニ
て容貌人間ニあらされハ夫ゟ本船ニ扶け乗せ保
養を加へて其故を問ハ船ニ檣船なくして洋中ニ
漂ふ方を失ひ飲食悉く尽ていつれも其死お待つニ
至れり然るニ其内ニ薄弱の者ニして其死(苦)お忍ひさる
ものハ追ニ死亡ニ及へりされとも各々哀悲の念たえす
己れの飢餓ニ堪すして終ニ其皮(肉)を集り食ひ夫ゟ
互ニ人の死するおのミ待て辛して今日ニ至りしとそ
かくて船主ハ件の漂民を護送して陸羽の地方ニ到りて
是を回生せしめしとなり
小笠原嶌南北嶌の間ニおいて日本商船の檣舵とな
く艫舳とたく其他種々の船具もろくの器物等多
年流着せしとなり實ニ無数ニして其国人としてハ
見ること忍ひさるなり土人の家屋も多くハ日本の船

板にて造り日用の器械も往々野用するものあり　此小
島ハ纔に東南洋中の一塊のことくなるに其の跟迹をみ
るに既にかくのごとしいはんや四方海上に於て古来
國地の民宝を失ひ諸般の物品を流したること思ひ
量るべきなり　されハ當今第一の急務ハ造船の制を
改め航海の術を講して普く國中に知らしむることに
濟世第一の要務といふべし
嶋中地面の直段ハ中通りの畠地千坪程にて六十トルラル
なれハ内地にて金三十両に當ル日本江戸の近郷にて同位
の畠地千坪の者ハ大許金三十両程なれとも地性拾倍に
宜し　但し小笠原島ハ農税を出すことなし

ヲレンジカウリイ（橙黄海貝之儀）ハ内地子安貝の大なるものにして
裏面ハ乳白表面ハ紅黄の澤色殊に美なり出處ラドロ
子ニ諸島の海中より小笠原島辺に至り絶崖断岸の
坑中に往々是に産ス然れとも土人も容易に得難き

を以甚是に貴重し雌雄一雙の通價三十ドルラルより
五十ドルラルに至り是を英佛の地方に送れハ其價一百ドルラル
を下らずと云ふ予好て海殼に集て其名に聞既に
今其物に見ルに實に天下の名品にして博物館中必
備の者と言へり

嶌民赤子を養ふに乳の乏しき時ハ蕃薯の粉末を煮て
汁液となし是を代養に簡便にして又良法
なり

嶌中颶風タイフウの起る時節多くハ日本十月より十二月
にあれども時としてハ五六月頃起る事あり其前徴ハ
五六日以前より大風吹きしきり日月暈を生じ黒色の
雲線幾筋となくたなびく空中に横に靡き或ハ暁天火紅色
をなす其颶風の起るに至りてハ断巌と山崩し砂石を
飛し人を倒し海水を巻て山半に至らしむると

ゆゑなり。

嶌中の蚰蜒ゲヂ〳〵ハ長サ寸余にして物を食ふ事衣類穀類器物其他何品にかぎらず損傷せしむと云ふと也
或時東人輩爛酔して其侭に臥し翌日に至り面部を見れハ満面嚼傷して血猶乾かず其後悩み痛シ止マずと言

當嶌所産の西瓜其大なる物ハ長サ二尺許廻り五六寸其味の美なる事淡き氷糖の如くにして冷液殊に多し其種子ハ先年米国海軍の将ペルリの持渡りたるよしなり

ラトロ子こなたカナカの諸嶌および小笠原に至りてハ酒と烟草の高價なる事世界第一といふべし　當今諸国の鯨漁船小笠原嶌に来りて最極下品の火

酒を商ふに一瓶の升量内地の三合五勺入の者にて
其價トルラル三圓なり又煙草の價ハ長サ二寸幅一
寸厚サ二分程なる是も至て下品の者にてトルラル
一圓にあたるなり

小笠原嶌土用中の熱度ハ時々百度を越ると云ふと
も朝夕と夜分の涼しハ地なと實に内地の比に
あらす殊に夜中ハ冷露微雨の如くに降り涼
風折々起りて其冷涼なる事比類なきに以て人々
唯日の傾くをので望むなり
傾 渇 せり

當嶌土用中の熱度ハ極熱の時寒暖斗一百五二度に
いたるなり

初秋の頃より形状大サ共螢の如くにて光りあるき
虫火ともしの頃より群り来り人に刺ス事面部

手足となり其痕忽ち火ぶくれの如くに腫して水い
て痛み強し其愈る事の早きハ六七日遅きハ十四五日に
經へし然れとも毎夕必らず傷害を受るか故に其
病更に絶る事なし是ゆゑに失張芫青の種類な
ぞんり

カナカ嶌の王と稱する者ハ嶌中すくれて強勇の
者なりとぞ其王通行の時ハ嶌人道路に平伏し
て尊重限りなし携ふる所の武器と稱する者ハ
椰樹製の弓矢（鏃にハ鰐牙を插けり）又ハ三稜状にて同し木を以て
造りたる劔の如き者（是も三方に鰐牙を植たるものなり）外に槍乃如き者杖子
或ハ楫の如き者何れも樫硬なる椰樹製にて丈夫を以
闘爭をなすといへり

同島婦人の小なる事身の丈三尺許腰の周圍一尺許
（日本尺）ある由氣候甚悪しくて雨降いつれハ必らず數日の

暴雨ニて其雨晴れハ又苦熱堪へかたし故ニ嶋人何
れも枯瘦して長寿することなく其食類ハ椰
子魚類の外なしといへり

亜墨利加人此嶋ニ来りて年々椰子油を採て諸方
ニ運賣す本国ニて一バルレルの定価廿ドルラルの由なり
るカナカ嶋ニて土人ニ雇ひ一月ニ四ドルレルを採るといふ
とい[illegible]ども只少しづゝ下品なり煙草およびへるのミ
といへり

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan